



対流

Heart to Heart
2023.09

2023年9月29日発行

特定非営利活動法人
有機農業認証協会
〒564-0063
大阪府吹田市江坂町
1丁目23-19
TEL*06-6330-0823
FAX*06-6330-0735
MAIL yuukinin@apricot.ocn.ne.jp
HP : <http://yuukinin.org/>



つくる人、はこぶ人、たべる人。
農山漁村に住む人、都市に住む人。
自分の居場所や立場を越えて人と人。

人と自然のあらたなかかわりは
顔の見える交流(Face to Face) から
心が響きあう対流 (Heart to Heart) へ。

■CONTENTS

- 1.巻頭言
- 2.事業・活動報告
- 3.お知らせ
- 4.講習会など

1. Wind at Our Back !

理事長 中塚華奈

農水省が不定期にアップデートしている「有機農業をめぐる事情」の最新バージョンが2023年9月に発表されました。みどりの食料システム戦略にて2050年を目標年とし、農業のゼロエミッションを達成すべく、有機農業に追い風が吹いてきたと言われていますが、その成果がじわじわと現れている情報がたくさん発信されています。

例えば、有機農業の面積拡大に向けて、生産から流通、消費まで一貫して地域ぐるみで取り組む「オーガニックビレッジ」を2025年までに100市町村、2030年までに200市町村創出することを目的に、全国各地で産地づくりを推進してきた結果、2023年現在でオーガニックビレッジは42道府県91市町村にまで拡大しました。当協会の所在地でもある大阪府では、堺市が今年度からオーガニックビレッジに名を連ねています。

みどりの食料システム戦略では、2050年までに有機農業面積を全耕地面積の25% (100万ha) にするという目標を掲げていますが、2021年度時点で高知県馬路村では、有機農業取組面積が52haで同村の耕地面積に占める割合は81%になっていたというから驚きです。以下、山形県西川町 (75haで15%)、宮城県柴田町 (123haで13%) と続きます。2021年度の有機農業の取組面積が最も広がったのは北海道標茶町で418ha (同町の耕地面積に閉める割合は1.4%)、以下、福井県大野市367ha (8.7%)、北海道興部町314ha (5.0%) と続きます。

有機農業に取り組むかたが増えるに従い、有機JAS認証サイドもグループ認証におけるほ場のサンプリング調査や、実地調査におけるリモート調査の導入を開始するなど、有機JASの信頼性を確保しつつ、事業者様の負担軽減に向けた取組を開始するようにもなりました。

有機農業は生産者や流通に関わるかたが頑張るだけでは、普及拡大に限界があります。消費者や実需者を有機農業の関係人口としていかに増やしていくことができるかが大きな鍵になるのではないのでしょうか。当協会ではオーガニックレストラン認証 (規格の正式名称は、「有機料理を提供する飲食店等の管理方法JAS規格」) とともに、有機農産物の川上から川下まで信頼性の担保と普及拡大に努めてまいります。ノウフク連携JASも含め、興味を持ってくださるかたがおられるようでしたらご紹介ください。



2.事業・活動報告など

■事務局業務

*判定委員会(8/7・21、9/19)

新規調査3件（加工食品の生産行程管理者2件、加工食品の小分け業者1件、加工食品の輸入業者1件、加工食品の外国格付表示業者2件）、年次調査29件（農産物の生産行程管理者7件、加工食品の生産行程管理者9件、小分け業者9件、輸入業者4件）の他に追加ほ場が2件でした。

*理事会(8/25)

2023年度第3回の理事会がオンラインにて開催されました。事務局より前回理事会以降の活動報告及び決算報告があり、交流会の開催等について議論しました。

■有機JAS講習会

●個別講習会

- 8/1（加工食品の輸入業者：2名）
- 9/13（加工食品の生産行程管理者・農産物の小分け業者：2名）
- 9/22（農産物の生産行程管理者：1名、農産物の小分け業者1名）

■SNS発信について

先日、インスタグラムのアカウントを作成いたしました。以前の会報でお知らせしていた通り、今後はSNSを活用し、事業者の皆様のご紹介や各種講習会開催の案内など、様々な情報を発信していきます。事業者の皆様には掲載写真の提供などご協力いただけますと幸いです。当協会のアカウント名はjoa_organicです。ぜひ、フォローしてください！（片岡）



■新規事業者紹介



★中房食品(株)

京都市伏見区で有機加工食品を製造する生産行程管理者です。生産品目は有機実山椒（冷凍、塩蔵）。

[ホーム - 中房食品株式会社 酒粕 筍 実山椒 \(nakafusa-syokuhin.com\)](http://home-nakafusa.com)

★フロンティア物産(株)

大阪市内に本社がある有機加工食品の輸入業者です。主な輸入品目はオーガニックチョコレート。

[フロンティア物産株式会社 | FRONTIER&CO.LTD \(frontier-bussan.com\)](http://frontier-bussan.com)

★(株)大阪美鈴コーヒー

大阪市内で有機コーヒー豆を焙煎する生産行程管理者で、今回新たに焙煎する前の生豆の小分け業者として認証を取得されました。

[コーヒー生豆、焙煎、スペシャルティコーヒー、グアテマラ、エチオピア、モカ、ブラジル、\(coffee-market.net\)](http://coffee-market.net)

★光食品(株)

徳島県に本社を置く有機加工食品の生産行程管理者で、主な製造品目は、ケチャップ、ソース、ドレッシングなど。今回、外国格付表示業者の認証を取得されました。

[光食品株式会社ホームページ \(hikarishokuhin.co.jp\)](http://hikarishokuhin.co.jp)

★弓削多醤油(株)

埼玉県に本社を置く有機加工食品の生産行程管理者で、主な製造品目は醤油です。今回、新たに外国格付表示業者の認証を取得されました。

[弓削多醤油（日本初の生しょうゆ・有機醤油の通販） | 体に良い菌が生きている発酵食品としての生しょうゆ \(yugeta.com\)](http://yugeta.com)

★横濱ワイナリー(株)

横浜市内で国産原料にこだわってワイン醸造を行う事業者で、昨年、同じく横浜市内の自社ブドウ園で有機農産物の生産行程管理者として認証を取得し、今回はその自社農場の有機ブドウによる有機ワインを醸造する生産行程管理者として認証を取得されました。

[日本ワイン横濱ワイナリー | 日本で一番小さなワイナリーの通販サイト \(yokohamawinery.com\)](http://yokohamawinery.com)



■ノウフクJASの認証を開始します

「農福連携」という言葉を聞いたことがありますか？

農林水産省のホームページには「障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組」で、「農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。」という説明があり、ここ数年、様々な取り組みが進められています。

2019年には、障害者が生産行程の一部に携わった生鮮食品とその生鮮食品を原材料とする加工食品について、「障害者が生産行程に携わった食品」という新たな日本農林規格（JAS0010：通称ノウフクJAS）が出来ました。

そしてこの度、有機農業認証協会はこのノウフクJASの認証を行う認証機関として農林水産大臣に登録をしました。この規格自体は有機農業であるかどうかは問いませんので、なぜ当協会がその認証をする必要があるのか、という意見は理事会でもありましたが、その一方で有機JASの認証事業者が障害者を雇用して生産を行っているケースは少なくなく、ノウフクJAS認証の取得を目指している事業者も実際に複数ありますので、その受け皿になるべく登録した次第です。認証を取得すると「特色JAS」といわれる富士山をイメージしたJASマーク（下記参照）を表示することができます。

認証の対象は生鮮食品または加工食品の生産行程管理者及び小分け業者で、加工業者、小分け業者については使用する原材料がノウフクの格付された生鮮食品であることが要件となります。詳細は農林水産省のサイトを参照してください。（岡田）

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/attach/pdf/index-47.pdf

新JASマークは「信頼の日本品質」をひと目でイメージしてもらえよう、日本を象徴する「富士山」と、日の丸を連想させる「太陽」を組み合わせて、シンプルなデザインにしたといいます。



■国際化粧品展視察について

2023年9月27日～29日インテックス大阪で開催された「第4回国際化粧品展大阪」へ視察に行ってきました。

国際化粧品展大阪は西日本最大級の化粧品の専門展示との事で、化粧品に関するあらゆる製品の展示がされていました。今回の視察の目的はオーガニックコスメ認証を取得した化粧品だったため、サステナブル・オーガニックゾーンを中心に回りましたが、認証を取得されていた化粧品はわずか1点だけでした。

農産物と違いオーガニックコスメ認証は国ごと機関ごとに認証基準が異なるため、日本の化粧品では特に取得されているものが少ないようでした。

ただ、ビーガン化粧品認証、リーピングバニー（動物実験不実施認証）、国際認証GOTS（貿易取引とその製品）等、環境に配慮した商品も多いように感じました。食べるものは有機JAS認証というはっきりした基準があるため、自然環境や自身の体等の為にあまり悩まず購入されている方は多いかもしれませんが、コスメとなると上記で記載した通り基準がバラバラでどの製品がいいのか等悩まれている方は多いのではないのでしょうか。

もちろん、化粧品は口に入れるものではありませんし、オーガニックの原料を使ってもすべての人の肌に問題が起こらないとは限りませんが、基準が統一されもっとオーガニック全体が広がっていくといいなと感じました。（前田）



4.お知らせ

慣行苗を購入する際は農薬・肥料にご注意！

有機農産物を生産するにあたっては、有機的な方法での自家育苗が基本です。種子から育つもので例外的に慣行苗の購入ができるのは「ナス科」と「ウリ科」に限られており（育苗に失敗した、天災等の被害で苗が全滅した等を除く）、その他に栄養繁殖する作物としてジャガイモ、サツマイモ、サトイモやイチゴなども自家増殖が困難で購入するケースが考えられます。

これらの苗や栄養体を購入する際に注意しなければならないのは、JAS第4条の表「種苗の項の2」にある「植え付け後にほ場で持続的効果を示す化学的に合成された肥料及び農薬が使用されていないもの」であることの確認です。いわゆる「緩効性（効果がゆっくり現れる）」の農薬や肥料が使用されていないかを確認するためには、購入先から使用資材の種類や使用時期についての情報を得ておく必要があります。そして、その内容がJAS規格に適合しているかどうか、認証機関にも確認してください。

情報不足であとから不適合になったケースも実際にあり、状況次第ではほ場の認証が継続できなくなる可能性があります。ですから有機農産物の生産において慣行苗の購入は非常にリスクが高いと言えます。最近の事例としては、九州から広がったサツマイモの基腐病の防除をした苗があります。購入先から正確な情報を入手するようにしてください。（岡田）

4.講習会など

●有機JAS講習会

開催日：2023年11月14日（火）

時間：10時～16時

場所：オンライン（Zoom）

開催概要：年に2回開催している当協会主催の有機JAS講習会の2回目は上記の日程となります。JAS法及び関連法案の改正など、ここ数年は法律や基準がかなりの頻度で改正されています。過去に受講された方もぜひ有機JAS講習会を再受講し、安心して有機的管理を行いましょ。

受講料：11,000円（会員：6,600円）

申込は申込書に必要事項を記載の上、メールまたはFAXにてお申込み下さい。申込書は当協会HPに掲載されています。

HP：http://yuukinin.org/kousyukai_info.html

※申込期限：10月31日（火）

●勉強会 & 交流会

開催日：2023年12月5日（火）

時間：15時～19時

場所：ホテルクライトン江坂 2階・彩の間

開催概要：有機JASの最新情報勉強会とマッチング交流会を開催します。一昨年、農林水産省が「みどりの食料システム戦略（以下、みどり戦略）」を発表しました。大きなテーマとしては「農林水産業を通じていかに温室効果ガスを削減するか」ということなのですが、その中で「2050年までに日本国内の農地における有機ほ場（JAS認証ほ場に限定しない）の面積を25%にする」という大きな目標数値を掲げました。そのため様々な施策や予算措置が打ち出されていますので、事業者の皆さんの役に立ちそうな情報について解説します。

勉強会終了後は食事をしながらの交流会という形で事業者の皆様同士の出会いの場を用意しました。「認証は取得したが販路が見つからない」、「加工や小分けをするのに有機原料が見つからない」そんな声をよく聞きます。私たち認証機関は法律でコンサルティングが禁止されていますので、事業者の皆様へ直接のアドバイス等はできませんが、このようなマッチングの場を設けることは可能ということで企画しました。皆様のご参加をお待ちしています。

参加費：5,000円（非会員：8,000円）

申込は申込書に必要事項を記載の上、メールまたはFAXにてお申込み下さい。申込書が必要な方はご連絡ください。

インスタグラム：<https://www.instagram.com/p/CxplmxLPfc2/>

Facebook：<https://www.facebook.com/ninsyoukyukai.yuukinougyou>

※申込期限：11月15日（水）

●オーガニック検査員技術講習会

開催日：2024年1～2月

場所：アンビション貸会議室及び大阪府豊能郡開

催概要：一般社団法人日本オーガニック検査員協会（JOIA）主催による「農産向け検査員養成基礎コース」が来年1月から2月にかけて5日間のプログラムで開催されます。

前半（1/15、1/22）はオンラインでの講習。後半（2/6-7、2/8）は対面での座学と認証事業者のほ場での模擬検査という充実の講習です。

この講習を受講すればすぐに検査員になれるわけではなく、見習い検査員として3～5か所回ったうえでの採用（*認証機関によって採用条件は異なります）となりますが、検査員になれば様々な認証事業者を訪問できますので、生産農家の方には自分自身の勉強の機会にもなると思います。

受講料：165,000円（全工程参加）

詳細はJOIAのHPで確認してください。

HP：[2024年1月スタート！JOIA/IOIAオーガニック検査技術講習会 申込み受付中 | 日本オーガニック検査員協会 \(JOIA\) \(joia-organic.com\)](http://2024年1月スタート！JOIA/IOIAオーガニック検査技術講習会 申込み受付中 | 日本オーガニック検査員協会 (JOIA) (joia-organic.com))

※申込期限：12月10日（日）

